



未来価値創発企業
株式会社アビリカ

アビリカの企業フィロソフィ



株式会社アビリカ
代表取締役社長
平田 栄子

学生みなさまへ

ようこそ 株式会社アビリカ へ

私共は 1959 年に創立来、エネルギー、自動車、エレベーター、医療機器、食品、半導体と幅広い領域の企業様へ当社の設計技術をご提供してまいりました。その時々
の世界が求める日本の精巧で緻密な工業製品の設計や製作の一翼を担い、数々の
製品を世界に送り出してきた技術を誇りとしています。

アビリカは、未来の人々の生活を豊かにしていく新しい価値を、設計というフィールドで、
お客様へ社会へ提案し実現していく、社員ひとりひとりの姿勢であり思考であり行動
様式そのものを表し、それを体現する社員を Possibilian と定義しました。

私共とともに、あなたの才能をアビリカで未来価値の創発のために試してみませんか？
Possibilian が活躍する無限のフィールドを、私たちは用意して待っています。

企業理念

未来価値を創発する Future Value Possibilian

企業理念は、株式会社アビリカの経営姿勢と社員の決意を社内外に示すものです。
私たちは、社会や企業が求める新しい価値とは何かを常に追求し、未来志向に立って自ら具現化や創造に挑み続けます。
そして、その意義を積極的に発信し新たな時代を拓きゆくことを目指します。

コーポレートブランド

abilica

ability(資質/能力)+可(可能性)の意の造語
abilica(アビリカ)は、常に提案型の発想で可能性を追求し、不可能をも可能に変えていく決意で進む、わが社の経営
姿勢をシンボライズしたコーポレートブランドです。
小文字のみの構成により、親しみ、柔軟性、そして先進性と
いったソフト面を重視する、企業としての方針を表象して
います。

コーポレートシンボル



abilicaの頭文字「a」と、可能性の「可」の文字をデザイン
した、わが社のシンボルです。コーポレートブランドに込め
た私たちの想いと決意をデザインしています。
その柔らかいフォルムはあたたかい人間味を感じさせ、
パープルからピンクへと変化する美しいグラデーション
のコーポレートカラーは、明るい未来を見据えて柔軟に対応
するアビリカの企業イメージを印象的に表現しています。

Possibilianの使命と軌跡



Possibilianはアビリカ社員の呼称

Possibilian : Possibility (可能性)+an (~する人)
可能性を追求し、目標を具現化していく人

● 全社員が Possibilian として活躍を

アビリカは社員一人ひとりを、「Possibilian」と名付けています。
一人ひとりが新たな可能性にチャレンジし続け、次々と新しい価値
を具現化していくスピリットを持った人財でありたいと思います。

● Possibilianの行動指針 (possibilian spirit)

**めざすは
社内に、市場に、社会に、
価値ある提案**

アビリカは、Possibilianの活躍のステージは社内・市場(ビジネス)・
社会であり、そのいずれもが重要であると考えています。
企業の社員として、ビジネスを担う一員として、そして地域社会に
生きる存在として、常に発展成長を企図する提案者であることを
自身の使命ととらえ、その提案をもって次代を拓きゆくことを目指
しています。

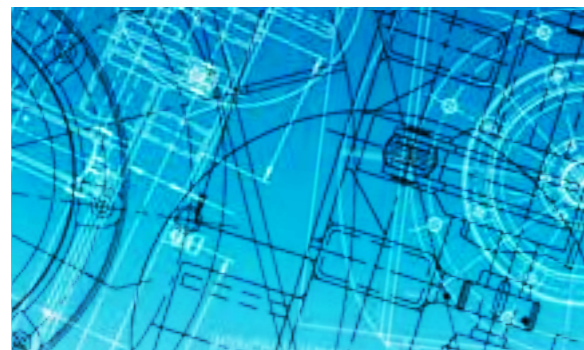
アビリカ 60 余年の歩み (日本の産業成長を支えてきた会社の歴史)

- | | |
|---|---|
| <p>1959-1969</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東京都台東区にて三和工機株式会社 創立 ・ 機械設計請負業を開始 (設計アウトソーシング) ・ 発電プラント系機器設計を開始 <p>1970-1979</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ブラウン管生産設備の開発設計に参画 ・ 自動車生産設備の設計を開始 ・ 半導体デバイス開発設計に参画 <p>1980-1984</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ハードディスク生産設備の開発設計に参画 ・ エレベーター設計を開始 ・ メモリ開発設計に参画 <p>1985-1989</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 産業用ロボット導入型生産設備の設計を開始 ・ 半導体製品開発に参画 <p>1990-1999</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 組込み系ソフトウェア設計に参画 ・ 液晶と半導体製造設備の開発設計全般に参画 | <p>2000-2004</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工場設備の管理システム開発に参画 ・ 医療用製品生産設備の設計開発プロジェクトを開始 <p>2005-2009</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鉄道の消雪設備制御システム開発に参画 ・ 設計製造ソリューション展にオリジナル製品を出展 <p>2010-2014</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療系機器・装置の開発設計に参画 ・ 医療機器のソフトウェア開発に参画 ・ イメージセンサーの開発設計に参画 <p>2015-2019</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食品関係の FA 設計開発プロジェクトを開始 ・ オリジナル製品「自動蝶結び装置」「自動瓶飾り装置」を開発 <p>2020~</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オリジナル製品「箱結び装置」開発 ・ 「鉄筋組立自動化システム」開発 ・ 2022年4月 社名を株式会社アビリカに変更 |
|---|---|

アビリカの事業領域

アビリカの主要事業

当社は機械設計、電気・電子設計、ソフトウェア設計などそれぞれの領域において、これまで多くの実績を重ね、技術力と人財力を培ってきました。その中で磨いた独自の強みを活かし、お客様のご要望にお応えすると共に、イノベーションを起こす取り組みへの提案やサポートを行っています。



メカニカルデザイン

新たな工業製品を生み出すさまざまな開発プロジェクトに参画し、先端設計技術の提供を行っています。

- **FA・メカトロ装置**：製品生産工場の設備自動化への基本構想設計から各過程に応じた装置の設計製作、工場内装置調整、生産開始まで一貫サポート
- **プラント設備**：発電・水処理・製鉄等の各種プラント設備におけるタービン/ポンプ/専用機/配管装置等の開発と設計
- **製品開発**：エレベーター/医療用機器/自動車(四輪・二輪)機器/家電/OA機器/建設機械等の設計



エレクトロニクスデザイン

メカトロ機器の制御設計、半導体デバイス設計、マイコン組み込みソフトウェアの開発等、最先端分野において高い技術力で寄与しています。

- **装置制御系設計**：生産工場における、各種装置の最適制御方法の策定・設計・設備立上げをサポート
- **製品開発**：半導体デバイスの開発・設計・評価、マイコン/メモリ/システムLSIなど各種半導体の製品化設計
- **ソフトウェア開発**：組み込みソフトウェア開発、生産工場及びインフラ系の管理制御用システムの設計

アビリカが挑戦する新領域

新規事業や新商品の開拓を目指し、横断的な視点から研究開発を行っています。



未来志向の新規事業開発

創業以来の実績と経験の成果である独自技術と人財力を活かし、新製品の開発をベースに新分野及び新事業開発に意欲的に取り組んでいます。

- **オリジナル製品**：幅広い開発実績をベースに研究・開発部門をさらに強化し独自の自社製品開発を推進
- **JV(協業)事業**：工場、建築、土木、農業、社会生活における自動化に分野を超えたジョイントベンチャーで挑む
- **abilica事業**：社内 Possibilian の育成、固有技術の活用による新たな社会的価値の創出、地域・社会への存在意義の積極発信

主な取引先企業例

(五十音順)

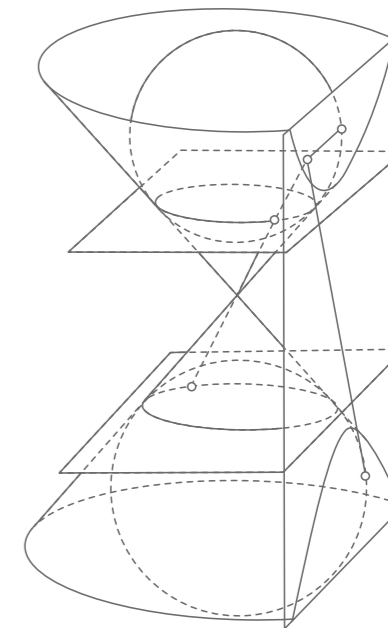


アビリカの人財像

Possibilianとは

アビリカというフィールドで、以下の順に思考しながら価値ある提案をし続け、自身の成長を楽しみ、社会の幸せを追求します。

1. **広い視野と柔軟な発想で物事を考えられる**
世の中の問題やこれから必要とされる事を見出す
2. **夢を持って未来を創造できる**
新しいモノを創造し夢みていた未来を実現する
3. **可能性を追求し続ける強い意思を持っている**
今は難しいが解決策は必ずあると信じて可能性を追求する
4. **目標を具現化する努力を惜しまない**
目標を定めたら全力で具現化に挑戦する
5. **己の力を組織に活かせる**
自分の力を組織に活かし、組織の力で不可能を可能に変える



Possibilianが担う仕事



生産設備設計

幅広い分野の生産工場における、基本構想・仕様検討・詳細設計・運用サポートなど、多岐にわたる提案型設備設計



製品開発設計

医療用MRI / 高速エレベーター等の製品設計、マイコンやメモリ / 専用LSI等の製品開発



ソフトウェア開発

自動車 / 産業用電子機器 / 医療用画像解析 / 手術支援ロボット等のソフトウェア開発



制御システム設計

各種生産設備の制御設計、生産管理・監視、鉄道の消雪設備等の制御システムの設計・運用支援



プラント設備設計

発電所のタービン / ポンプ / 各種機器等の設計・分析、風車等大型設備の現地設置のための関連機器設計など



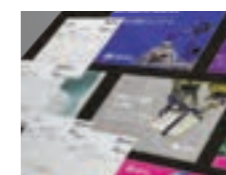
設計製作

生産現場でより効率的に作動する新技術設備、より高速の自動検査装置等の設計・試作・実験を伴う開発型製作受託



研究開発

製造現場の課題解決およびロボット / ロボットハンド / 建設 / 農業の分野への独自の技術力を活かした戦略的挑戦



企画・営業・調達

お客さまに適切な設備を提供するための提案や企画、見積り、与件を満たす納期と価格による各種調達など

若き Possibilian たち

Mechanical Design

主な実績事例



エレベーター
超高層建築の高速・特殊エレベーターを構造・安全性・デザイン性に配慮し個別設計



生産設備
半導体や液晶製品、各種電子機器の組み立て・検査や自動車生産設備などの自動化



風力発電
風力発電の設備メーカーの開発に参画し、本体・発電機的设计、現地設置用の機器開発

社員インタビュー



担当業務と手ごたえ

標準仕様では対処できないエレベーターの特殊設計を担当しています。カゴ・ドア・枠・表示装置を分担するチーム制で、私の仕事は表示装置（階表示や頭上パネル）の設計。ようやくこの世界のおもしろさと奥深さがわかりかけてきたところです。まだ学ぶことはたくさんありますが、経験を積み応用的に技術が使えるようになって、設計の醍醐味を感じ始めています。

今の仕事との出会い、将来の夢

元はパン屋さん志望。進路相談でそれならおいしいパンを作る機械を作ったら?とわれ工学部へ。研究室の「ものづくりで人を喜ばせよ」との示唆で入社しました。今は「どんな所でも活躍できるエンジニアになる」が目標です。海外では縦横移動可能なエレベーターも実用化され刺激的な時代に。クルマやプラントにも挑んでみたいし、ぜひ会社の未来事業に貢献したいです。



エレベーター設計担当
渋谷 一貴

2017年入社
機械工学科卒

上司のことば

彼の良いところは、真摯な姿勢。後輩にも優しく接している様子をよく見かけます。一緒にいると自然と笑いがおきる天性のムードメーカーです。周囲が忙しければ、快く「やりませよ」と引き受けてくれます。自分だって相当忙しいときでも、仕事に向き合う姿そのものをとても頼もしく感じています。

エレベーター設計担当
部長

大川 浩司

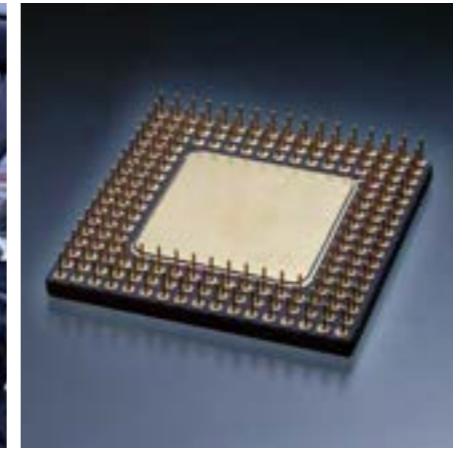


Electronics Design

主な実績事例



電子機器向けソフトウェアの開発
自動運転向け電子機器や産業分野向け電子機器のソフトウェア開発



半導体製品の開発
マイコンやメモリ、専用LSI等の論理・回路・レイアウト設計や特性評価



医療系ソフトウェアの開発
医療向けの画像分析・解析ソフトや手術支援ロボットのソフトウェア開発

社員インタビュー



担当業務と手ごたえ

大手ソフトウェア開発会社の最先端の仕事にたずさわりました。マイクロコンピュータにソフトを組み込む業務で、顔認識システム・貸し金庫管理システム・外食チェーンの画像注文システムなど。誰も知らない技術はどんどん現場で生まれ、どう使うかを検討され、社会に出ていく。その様子をまのあたりにしてきました。先駆的な新しい技術に毎日出会えて充実した日々です。

今の仕事との出会い、将来の夢

子供時代、ラジオなど電気製品を分解しては組み立て直すということに没頭していました。「壊れたものを直したい」という情熱は、「思い通りにプログラムを動かしたい」という目標に変わりました。また、自分の理解していることや仕事の考え方を教えるのは好きなので、仲が良い社風でもあり、いっしょに楽しんで仕事をする環境づくりに貢献したいと思っています。



組み込みソフトウェア設計担当
杉本 悠樹

2007年入社
電気電子メディア工学科卒

上司のことば

ちょっと人見知りに見えるところもありますが、実は話し出すと熱くなって止まらない。積極的に動くタイプなので、お客様や先輩たちからも可愛がられて成長してきました。信頼を得て長く第一線の仕事に携わってきたので、これからはその経験を未来志向の事業の中で発揮し、より一層活躍して欲しいと願っています。

組み込みソフトウェア担当
課長

米田 秀樹



若き Possibilianたち

Development Center

Staff Section

主な実績事例



自動箱結び装置開発

ギフト用・店頭用のパッケージに柔らかいリボンの蝶結びを自動で行う独自技術装置



自動瓶飾り装置開発

酒造メーカーの生産工場で、びん口の飾り紙装着と細ひもの蝶結びを完全自動化



未来志向のロボット開発

農業分野の自動化や地球環境の変化に対応する未来志向のロボット開発に挑戦中

社員インタビュー



担当業務と手ごたえ

機械を動かす制御システムのプログラム開発を担当しています。自分が書いたプログラムで機械が動くのはとてもうれしい。動かし方の案が浮かばない時は没頭し、家に帰ってからもずっと考え続けますが、ふとアイデアがひらめくのはすごく楽しい。創造力が必要な仕事だと思います。経験をたくさん積んで、先輩たちのようにすらすらとプログラムが書けるように早くになりたいです。

今の仕事との出会い、将来の夢

もともと機械が好きだったというわけではなく、工学と初めて出会ったのは、医療系の大学で工学を専攻した時でした。学生時代は機械の動かし方を学び、今は機械を動かす仕組みを作ることが仕事です。人の手でしている大変な作業を自動化することで、負担を減らしたり費用を安くしたりできれば、意義は大きい。世の中のためになる仕事ができたらいいなと思います。



制御ソフトウェア設計担当
南 凛太郎

2020年入社
医療福祉工学科卒

上司のことば

頼んだら最後までやり遂げてくれる責任感があり、信頼しています。若手社員としては、よくがんばってくれていると思います。

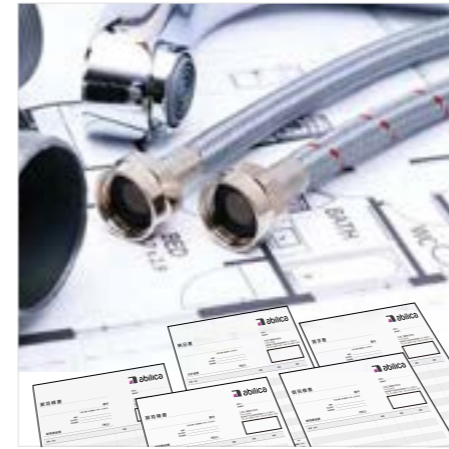
開発部門に必要な資質は、忍耐強さと責任感。そしてコツコツ積み上げていくことも大切です。彼の個性と素質を仕事に活かし、のびのびと存分に活躍して欲しいと思っています。

制御ソフトウェア担当
課長

池田 悟



主な実績事例



資材調達

装置製作に関する資材情報の収集管理と各案件の部材調達および推進サポート



出展企画

営業広報活動の一貫として、全国規模の展示会への出展企画と自社開発品展示を企画



品質・知財管理

国際規格「ISO9001」に基づいた品質マネジメントシステムの運営と知的財産の管理

社員インタビュー



担当業務と手ごたえ

新規案件に必要な部品を、納期・価格・品質を総合的に判断して1点ずつ発注先を決めて手配する、責任の重い仕事です。スピード重視なので、担当者取引先、双方と密にコミュニケーションを取ることが重要。大量の部品を期日までに調達し終えた時の達成感は格別です。より効率的な調達ができる全社体制づくりを目指して、常に情報収集と取引先開拓を心掛けています。

今の仕事との出会い、将来の夢

もともと人と話すのが好きで、社内外の人々とコミュニケーションできる仕事が希望でした。指示を待つのではなく、自分の考えや意見を提案して仕事を進められるので、とてもやり甲斐があります。尊敬している上司のように仕事ができるようになって、重要な部分を担える存在になるのが目標です。後輩を育て、重責を担うこの新設部署を大きくできたらと思っています。



資材調達担当
大河原 早織

2020年入社
国際文化学科卒

上司のことば

性格がとても明るく、コミュニケーション能力が非常に高い。難題に直前にした時、まずは様々な意見を受け入れ、何が最適かを考えて動ける。そのことで仕事を楽しくするのが得意です。責任感が強く、積極的に仕事に取り組んでくれるので、とても助かっています。いろいろ経験することで大きく成長して欲しいと期待しています。

資材調達担当
課長

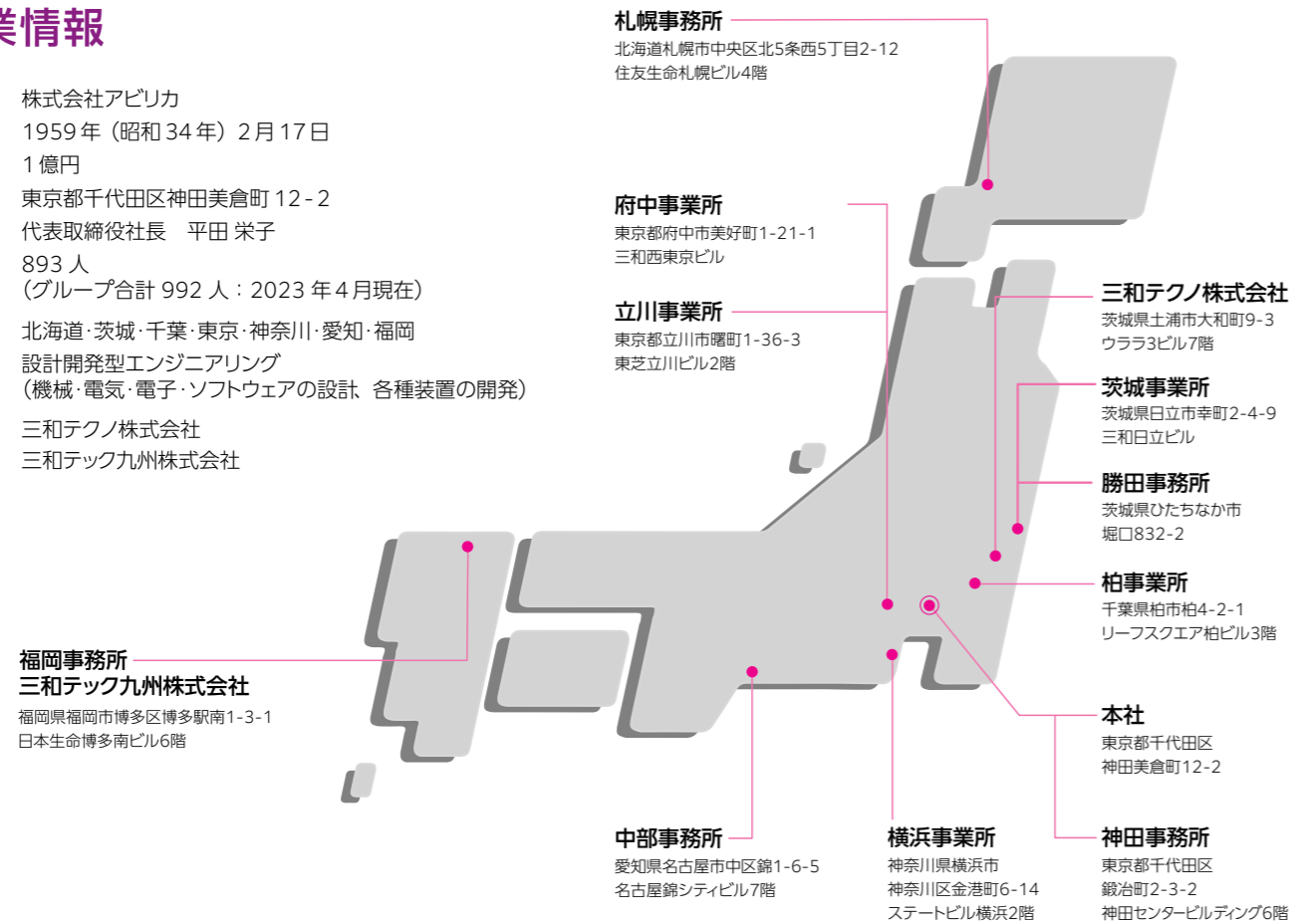
林 佐和子



アビリカの組織と交流

企業情報

会社名 株式会社アビリカ
 設立 1959年(昭和34年)2月17日
 資本金 1億円
 所在地 東京都千代田区神田美倉町12-2
 代表者 代表取締役社長 平田 栄子
 社員数 893人
 (グループ合計992人:2023年4月現在)
 拠点 北海道・茨城・千葉・東京・神奈川・愛知・福岡
 事業 設計開発型エンジニアリング
 (機械・電気・電子・ソフトウェアの設計、各種装置の開発)
 グループ 三和テクノ株式会社
 会社 三和テック九州株式会社



社内イベント・交流

行事やイベントを随時行っており、社員が有意義に楽しく交流を深めています。



創立60周年記念式典



全社ボーリング大会



新入社員レクリエーション



マラソンリレー大会



就活生向け会社紹介イベント



全社技術発表会



ファミリーデー(社員の家族招待日)



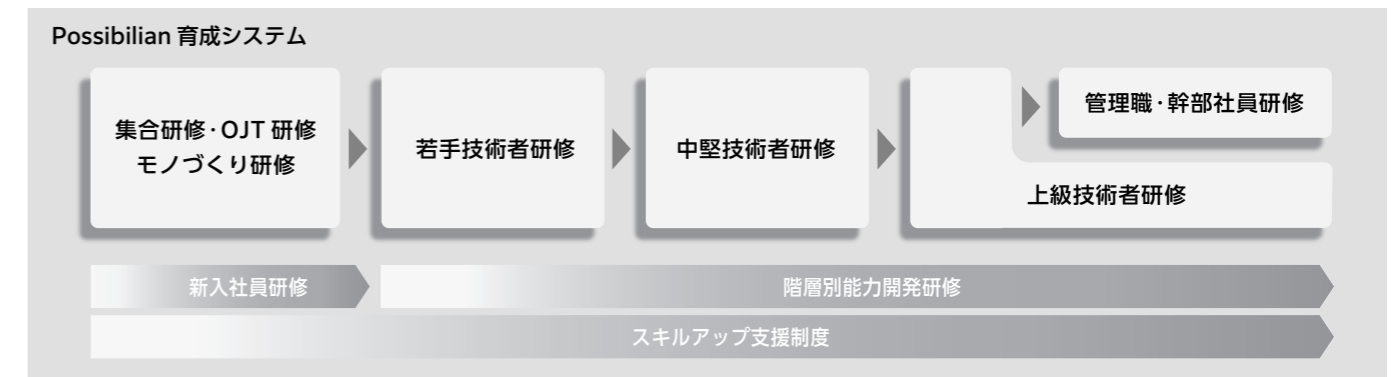
地引き綱大会

アビリカの人財育成

アビリカ新入社員育成から Possibilian 育成へ

私たちは、アビリカの企業理念「未来価値を創発する」に基づき、それを実現してゆく「Possibilian」を育成し、社会に感動や称賛をもって受け入れられる製品やサービスの提供を目指しています。それが

私たちが目標とする企業の未来像であり、そのためのさまざまな教育システムを用意しています。加えて、Possibilian としての社会性を重視した教育も併せて行います。



教育システム



● 新入社員研修・モノづくり研修

入社後の基礎研修に続き、メカニカル・メカトロ系及びエレクトロニクス・ソフトウェア系、それぞれに基礎技術を習得します。そこでは機械設計図面、電気回路、各種制御技術、製作技術、品質管理など多岐にわたる研修が行われます。また、実践的な研修プログラム(モノづくり研修)により、適性を磨き社会に貢献できるエンジニアの基礎を作ります。



● 階層別能力開発研修

それぞれの階層ごとに、職責と業務内容に応じて必要となる技術や一般知識を蓄積し、個々に能力を存分に発揮できるよう、階層別研修を取り入れています。若手技術者研修、中堅技術者研修、上級技術者研修を設定しており、実力強化をサポートします。また、管理職教育としては、マネジメント力向上を中心とした幹部育成体制についても充実化を図っています。



● スキルアップ支援制度

社員が個々にスキルアップを目指すための各種支援制度を設けています。資格取得奨励制度、通信教育補助制度のほか、海外研修制度、全社発表会および表彰制度があります。また、株式会社アビリカの誕生により Possibilian として活躍するために求められる各種研修や、Possibilianとしての積極的な挑戦・実践を評価する新たな表彰制度を計画しています。

募集要項

募集職種 機械設計エンジニア
 ソフトウェア開発エンジニア
 制御設計エンジニア
 半導体設計エンジニア
給与・賞与 別途お問い合わせください
 昇給年1回、賞与年2回
 各種手当あり
休日・休暇 完全週休2日制・年間休日125日
勤務先 関東地区(東京・神奈川・千葉・茨城)
 および各地当社事業所・事務所
福利厚生 社会保険完備・独身寮あり
 奨学金返済支援制度 他

選考の流れ



お問い合わせ先

採用センター
saiyo@abilica.co.jp

〒101-0038 東京都千代田区
 神田美倉町12-2
 TEL: 03-6859-3850
 FAX: 03-6859-1566



